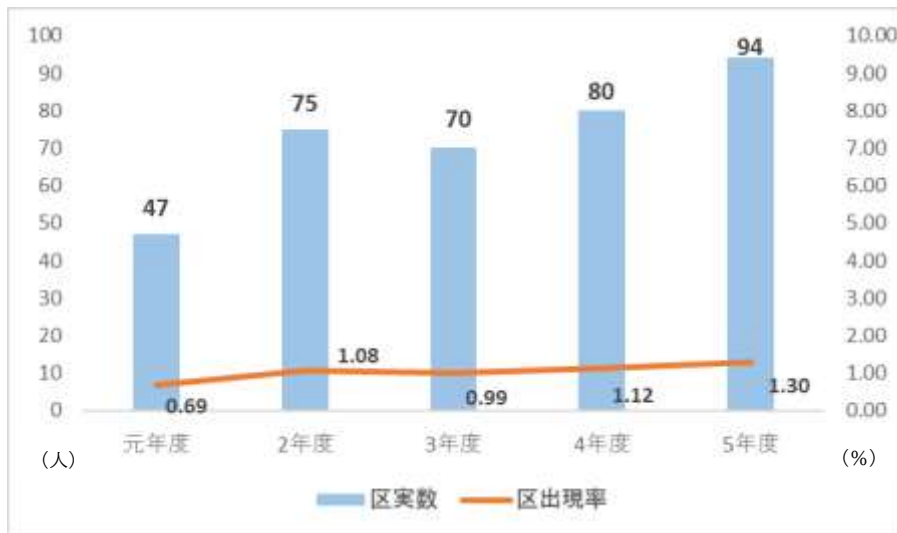


令和5年度 不登校児童・生徒数について

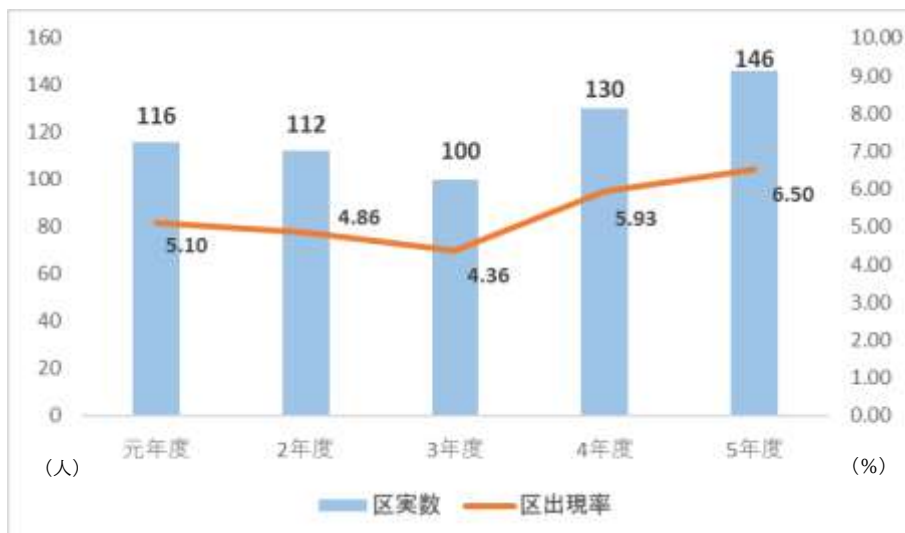
1 不登校児童・生徒数の集計結果

	小学校					中学校			
	実数 (人)	出現率(%)				実数 (人)	出現率(%)		
		区	都	国			区	都	国
5年度	94	1.30	2.21	2.14	5年度	146	6.50	7.80	6.71
4年度	80	1.12	1.78	1.70	4年度	130	5.93	6.85	6.00
3年度	70	0.99	1.29	1.30	3年度	100	4.36	4.79	5.00
2年度	75	1.08	1.06	1.00	2年度	112	4.86	4.93	4.09
元年度	47	0.69	0.88	0.83	元年度	116	5.10	4.76	3.94

2 小学校における不登校児童数及び出現率の推移



3 中学校における不登校児童数及び出現率の推移



4 考 察

本区の不登校児童・生徒の出現率は、全国的な傾向と同様に増加しており、過去最大であるが、国や都よりは低い。今後も、不登校が生じにくい魅力ある学校づくりを推進するとともに、不登校児童・生徒が自分で決めた目標に向かえるよう、1人1台端末を活用した取組、バーチャル・ラーニング・プラットフォームによる新たな居場所や学びの場の提供、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携、公的機関・民間施設での学習の推奨等、個に応じたきめ細かな支援を行っていく。

【参考】

令和5年度台東区児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査概要

- 1 趣 旨 児童生徒の問題行動等について、状況を調査・分析することにより、教育現場における生徒指導上の取組のより一層の充実に資するとともに、実態把握を行うことにより、児童生徒の問題行動等の未然防止、早期発見・組織的対応につなげていくものとする。
- 2 対象学年 小学校第1学年～中学校第3学年
- 3 実施期間 令和5年4月～令和6年3月
- 4 調査内容 不登校の児童・生徒数等
- 5 不登校の定義 何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないあるいは登校したくともできない状況にある者。
(ただし、「病気」や「経済的理由」による者を除く。)
※文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」より